

イタイタイ病を風化させない教育の実践に向け、資料館活用研修会を開催

小学校の教員を対象に資料館の教育への活用方法を考える研修会を12月26日に開催しました。まず、イタイタイ病を題材とした授業づくりに役立てるため、富山市内の先生2人から、①県小学校教育課程研修会社会科部会で検討された「資料館を活用した授業計画書」の提示、②イタイタイ病を取り上げた授業の実践事例の紹介、について、それぞれ発表いただきました。その後、参加された先生32名に発表者の2名も加わり、班別に分かれ、授業での成果や改善すべき点などをテーマとして意見交換を行いました。意見交換後、各班から討議内容を発表いただき、「身体の痛みだけでなく心の痛みも学ぶことが大切」「現在の環境問題にも通じる話として伝えるべき」といった意見などが出されました。研修の結びには、富山国際大学子ども育成学部の水上教授から講評と併せて、今後の授業への指導助言も賜りました。「イタイタイ病は、富山の公害ではなく日本の四大公害病の一つである。日本で起きた公害や歴史を学ぶための素材が富山にはある。だからこそ、富山県人は学ぶ必要があり、そのために資料館がある。」と資料館設置の意義についても述べていただきました。

今回の研修を踏まえ、資料館では今後とも教員の方々との連携を深めながら、イタイタイ病を風化させない教育の実践に向け、取り組みを進めていきます。



お好きな時間に「語り部講話」がご覧になれます

イタイイタイ病の教訓を伝承する「語り部講話」。講話を聴講された方のご意見には、「7人の講話をすべて聞いてみたい」、「都合のつく時間にじっくりと聞いてみたい」との要望が寄せられていました。これを踏まえ、語り部講話の様子をビデオ撮影、DVD収録し、このほど、7人全ての語り部講話が視聴できるようになりました。視聴場所は、資料館2階の資料閲覧室前ロビーで、2月までの開館中、お好きな時間にご覧いただけます。どの内容も約30分の映像に、それぞれの体験談が凝縮されている大変貴重なものとなっています。この機会にぜひ、ご覧ください。なお、視聴いただける語り部と内容については、次のとおりです。（敬称略・五十音順）

- 青木 有明（母がイ病認定患者。母の当時の様子や神通川の当時の状況などを講話。）
- 青島 明生（イタイイタイ病裁判以降の環境被害の対策（立入調査）などについて講話。）
- 大上 久彦（祖母がイ病認定患者。祖母の当時の様子などを講話。）
- 小松 雅子（祖母がイ病認定患者。父はイ病対策協議会初代会長。祖母や父の思い出などを講話。）
- 高木 良信（イ病対策協議会副会長で裁判闘争や発生源対策などについて講話。母がイ病認定患者。）
- 柞山 八郎（祖母がイ病認定患者。祖母の当時の様子や看病した経験などを講話。）
- 若林カズ子（夫の祖母がイ病認定患者。祖母の当時の様子や看病した経験などを講話。）

※詳しくは、資料館（076-428-0830）までお問い合わせください。



2/15「県民フォーラム」など 今年もイベントを開催します！

資料館が実施する最大イベント「イタイイタイ病を考える県民フォーラム」の開催内容が決まりました。たくさんのご参加をお待ちしています。

と き：2月15日（土）10時～16時

内 容：資料館での学習成果の発表、C・Wニコル氏による記念講演、四大公害病の資料館長らによるシンポジウム など

参加料：無 料 *事前申込が必要となります。

*詳しくは、ホームページ (<http://itaitai-dis.jp>) でお伝えします。

このほか平成26年に資料館で実施する主なイベントの開催予定もご案内します。詳しい内容は、ホームページなどで順次お知らせします。

◆イタイイタイ病映像展

○1月28日（火）～30日（木）於：富山市民プラザ2階アトリウム

○イタイイタイ病の恐ろしさや克服の歴史を広めるための館外活動の一環として開催します。

◆春の特別企画展「萩野昇の生きた時代」

○4月26日（土）～5月6日（火）

○萩野昇氏の写真や愛用品の展示、関係者による鼎談 など

◆夏休み自由研究講座 ～イタイイタイ病を学ぼう～

○8月1日（金）、2日（土） *対象は、小学校高学年とその保護者

○イタイイタイ病教室、語り部と回る展示見学、水の実験 など

◆イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー

○8月8日（金） *対象は、小学校高学年とその保護者

○神岡鉱山（排水処理施設、たい積場など）や復元田をバスで見学

◆語り部による伝承会

○9月27日（土）

○四大公害病の語り部らによる講話・意見交換会 など

◆イタイイタイ病資料館活用研修会

○12月26日（金） *対象は、小学校教員

○資料館活用事例の紹介 など